

行政デジタル改革共創会議 旅のしおり (2023年12月24日更新)

行政デジタル改革共創会議

デジタルイギ
火中の栗拾いツアー 2024

再 始 動



デジタルって
おもったより
しんどい

写真：日経BPガバメントテクノロジー 2022年春号 撮影：加藤 康

行政デジタル改革共創会議

デッカイギ
火中の栗拾いツアー 2024

in 羽田 ✈️

2024.
1.5 (FRI) - 1.6 (SAT)



参加費
無料

<https://www.dekaigi.org/>

デッカイギ 🔍

目次

セクション	セクションタイトル	詳細
—	感染症対策について	—
1	イベント概要	—
2	会場のご案内	来場に際してのお願い 会場までのアクセス 会場のご案内(コングレスクエア羽田) 協賛企業ブースのご紹介 会場のご案内(PiOPARK) 受付方法のご案内 ストラップ着用に関するお願い ノベルティについて 会場内での食事について
3	デッカイギの楽しみ方	デッカイギについて 行動指針について デッカイギLINE公式アカウントのご案内 ぼっち飯対策企画について
4	夜の部のご案内	—
5	参加後アンケートのお願い	—

感染症対策について

以下についてあらかじめご確認のうえで、ご出席いただきますようお願いいたします。

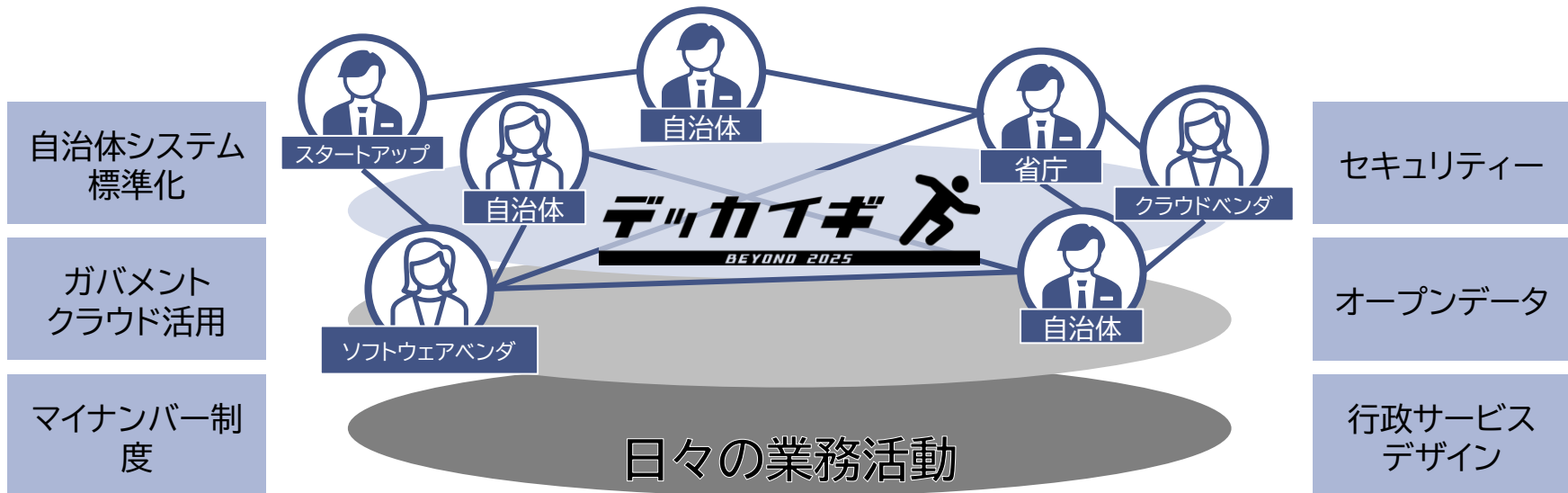
感染症対策についてお願い

- 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ感染症などの流行状況により、会場参加について変更する場合があります。変更の場合はWebサイト(<https://www.dekaigi.org/>)での掲示および登録されたメールアドレスへのご連絡をいたします。
- 会場への移動前に検温をお願いいたします。37.5度以上の発熱があったり、咳やくしゃみ、鼻水、咽頭痛など風邪のような症状があったりする場合は、ご参加をお控えください。
- 登壇等の予定がある方で、発熱等の症状がある場合は、実行委員会の企画担当者までご連絡をお願いいたします。

1. イベント概要

行政デジタル改革共創会議(デッカイギ)企画趣旨

国、自治体、事業者など複数のステークホルダーが協働する行政デジタル改革は、相互信頼に基づく情報交換なしに進めることはできません。そこで、ステークホルダー相互の信頼醸成を図るため、情報共有や議論をする交流の場として本イベントを開催します。



「デジタル改革共創プラットフォーム」の参加者にも呼び掛けて開催します

行政デジタル改革共創会議(デッカイギ)開催概要

開催概要は、以下の通りです。

イベント名	行政デジタル改革共創会議 in 羽田 ～火中の栗拾いツアー2024～ (略称:羽田デッカイギ)
日程	2024年1月5日(金)・1月6日(土)
会場	羽田イノベーションシティ内 コンプレクスエア羽田およびPiOPARK (〒144-0041 東京都大田区羽田空港1丁目1-4)
主な参加者	基礎自治体・広域自治体・中央省庁の職員、協賛企業の社員、関係者
参加規模	約400名

本イベントは、行政デジタル改革に関する非営利のカンファレンスです

今回のテーマ「火中の栗拾いツアー2024」について

火中の栗拾いツアー2024

迫りくる2025年度末に向けた自治体システム標準化、人口減少・少子高齢化が進む日本の自治体行政の危機を挙げた「2040年問題」、政府が進めるデジタル行財政改革など、行政デジタル改革を巡る様々な課題がある中で、強い問題意識のもと、住民のためや国のためといった公共の利益に資するために、「火中の栗を拾う人」たちが全国にたくさんいます。

「火中の栗を拾う」とは、自分の利益にならないのに、危険をおかすことや、危険を承知で、あえて問題の処理や責任ある立場を引き受けることのとえ。羽田デッカイギの参加者である、基礎自治体・広域自治体・中央省庁の職員、協賛企業の社員、関係者はみな、いままさに火中の栗を拾っている人、これから火中の栗を拾う人です。デッカイギ第2回目となる羽田デッカイギは、こうした、頭と口だけではなく自ら手足を動かし、山積する課題解決に向け火中の栗を拾う人たちのための場でありたいと、「火中の栗拾いツアー2024」をテーマとしました。



各地の公務員が火中の栗を拾う様子大喜利

プログラム企画の種類

企画の種類は以下、企画者の区分は実行委員会による主催者企画、公務員から広く募る公務員公募企画、協賛企業によるスポンサー企画があります。プログラムはWebサイト(<https://program.dekaigi.org/>)からご確認ください。

講演・LT(エルティー/ライトニングトーク)



事例発表等、会場に集まった多人数を相手に特定の話題について話をします。

他にLT形式として、特定話題(窓口改善等)を複数人で5分ずつで短時間発表を行い、意見交換を行うものもあります。

ワークショップ・ハンズオン

全員参加型



参加者全員で手を動かしながら、課題整理や体験調査を行う体験型の会議形式です。

単に学びを得るだけでなく、参加者同士の今後の交流につなげることができます。

パネルディスカッション



数人の登壇者による特定テーマの討論もしくは対談を、参加者に聞いてもらいます。

テーマに沿って、登壇者が意見や立場を発表し、フロアの参加者を交えた意見交換を行います。

BoF(ビーオーエフ/ボフ)

全員参加型



「類は友を呼ぶ」という英語版のことわざから来た会議形式です。特定議題について参加者を募り、車座形式で意見交換をします。

参加者限りの情報として制限をかけることで、失敗談や課題等、機微な情報に関する会話ができます。

協賛企業(1/4)

デッカイギの協賛企業は次のとおりです。

プラチナスポンサー(1/2)

RKKCS

 Bot Express

vmware®



Gcomホールディングス株式会社

協賛企業(2/4)

デッカイギの協賛企業は次のとおりです。

プラチナスポンサー(2/2)



協賛企業(3/4)

デッカイギの協賛企業は次のとおりです。

ゴールドスポンサー

Fast DOCTOR

servicenow®



FORTINET



協賛企業(4/4)

デッカイギの協賛企業は次のとおりです。

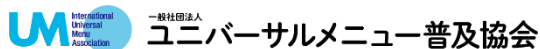
シルバースポンサー



Orchestrating a brighter world



シルバースポンサー(非営利)



運営体制

運営体制については、以下の通りです。

主催	行政デジタル改革共創会議実行委員会(デッカイギ実行委員会) 実行委員会 委員長 庄司 昌彦 (武蔵大学) 実行委員会 副委員長 江口 清貴(神奈川県庁) ボランティア有志による実行委員会方式にて運営します
事務局	特定非営利活動法人 Digital Government Labs
後援	大田区
WEBサイト	https://www.dekaigi.org/

2.会場のご案内

来場の際してのお願い

以下について、事前にご準備をお願いします。

ご準備いただきたいもの

- Peatixアプリのダウンロード
受付をスムーズに行うため、Peatixアプリを使った「タップで受付」にご協力ください。
「タップで受付」は**アプリでのみ可能なため、事前のダウンロード**をお願いします。
※スマートフォンをお持ちでないなど、アプリをダウンロードできない場合は受付でその旨お申し出ください。
- 職員証(必須)、名刺
当日会場受付で、職員証とお名刺2枚をご提示して受付いただきますので、**必ず職員証とお名刺をお持ちください**。また、皆さま同士の交流促進も主目的のひとつですのなるべく多くのお名刺をお持ちいただくことをおすすめします。
- ご自身のPC・スマホ等の充電、携帯バッテリー、ネットワーク機器
会場利用できる電源は限られております。PC・スマホ等は十分に充電の上で、必要に応じて携帯用バッテリーをご準備ください。また各会場にWi-Fi通信環境はありますが、**通信品質等の保証は出来かねます**のでご容赦ください。
- 行政デジタル改革への熱い熱意と、行政デジタル改革を進めるステークホルダーに対する敬意の気持ち。

来場の際してのお願い

会場では以下にご留意ください。

会場での留意事項

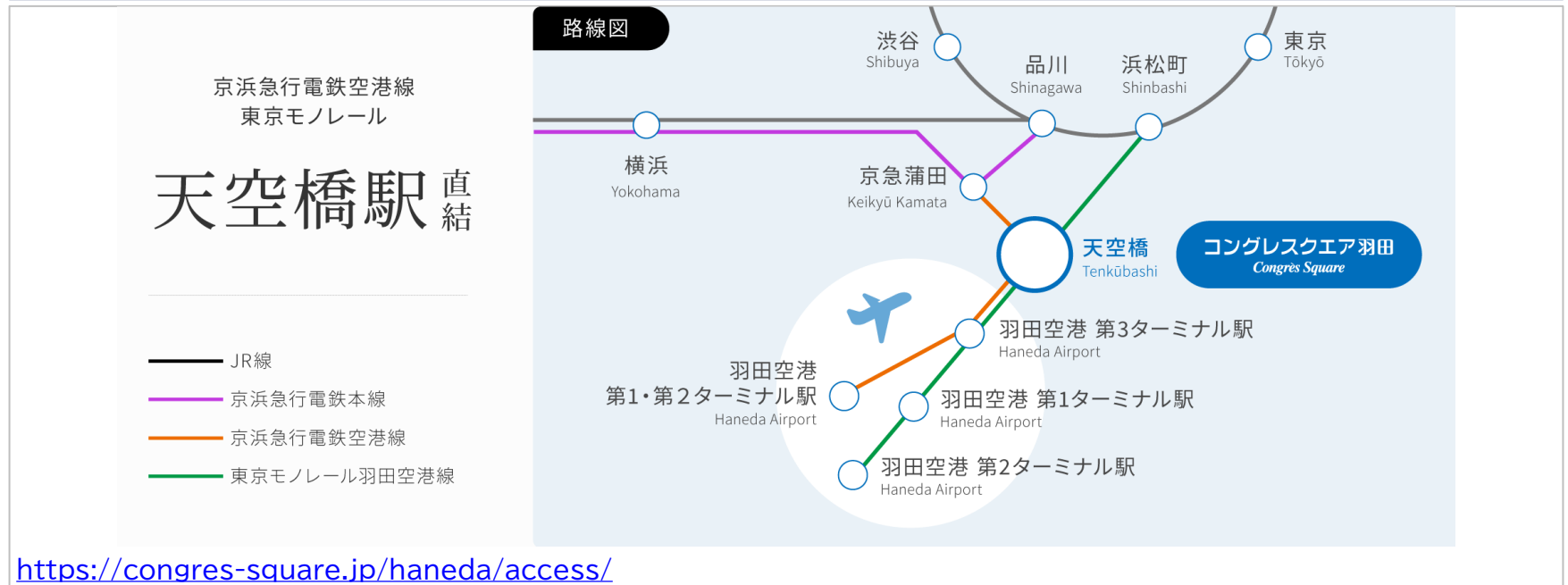
- 会場(コンgresクエア羽田)内は飲食物のお持ち込みは禁止です(「お弁当引換券」(1000円)についての詳細はP.26をご覧ください)
- 荷物
会場ではお荷物を置くスペースが少なく、ご自身で管理をお願いしております。会場持ち込みのお荷物はなるべくコンパクトにしてください。
- 非常時の行動
地震等災害、施設内での停電発生時は身の安全を確保して、スタッフの指示に従ってください。施設の避難経路など非常時の対応は、オリエンテーションでご説明いたします。
- 実行委員会からのお知らせはWebサイト(<https://www.dekaigi.org/>)、X(@dekaigi)の告知をご覧ください。
- 本イベントは一般参加者の参加費は無料としており、協賛各社様のご協賛によって運営しております。スポンサーブースとスポンサーセッションへのお立ち寄り、積極的な意見交換をしていただくようお願いいたします。

会場までのアクセス(1/2)

会場までは公共交通機関をご利用してお越しく下さい。

羽田イノベーションシティ(HICity)は京浜急行電鉄空港線・東京モノレール「天空橋」駅直結です。

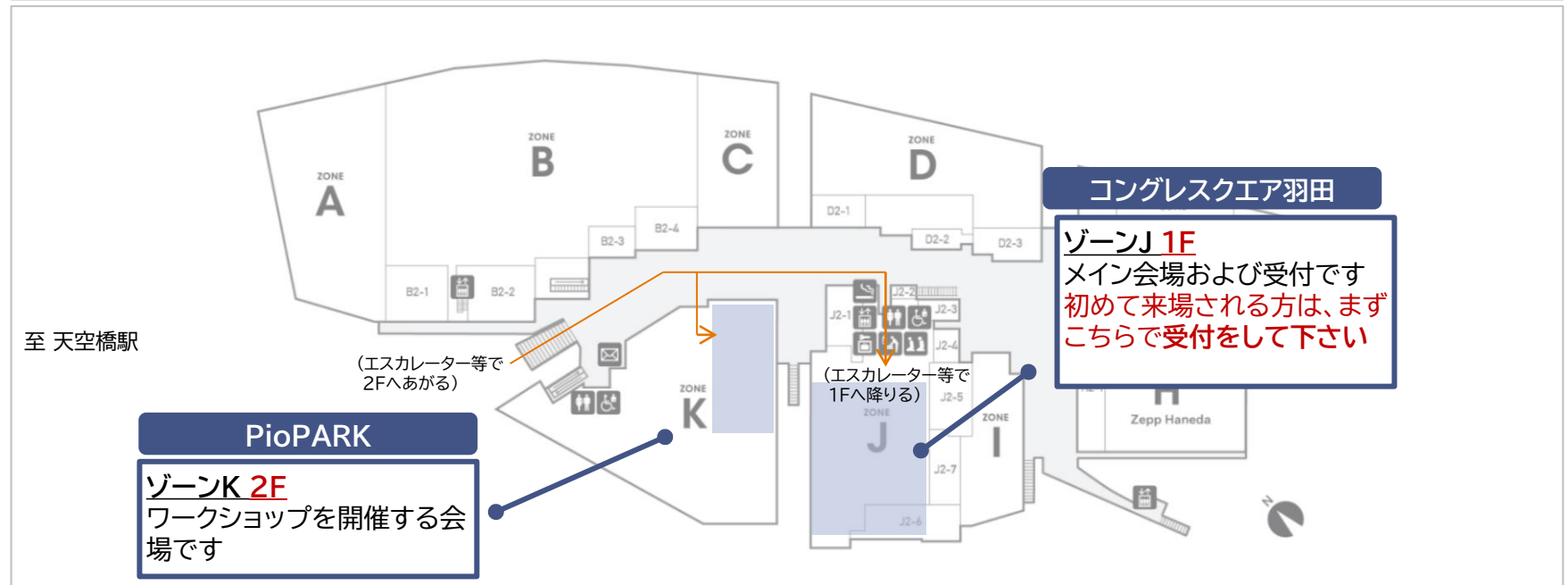
羽田イノベーションシティ アクセスマップ



会場までのアクセス(2/2)

羽田イノベーションシティ内の地図は下記のとおりです。
初めて来場される方は、必ずコングレスクエア羽田で受付を行ってください。

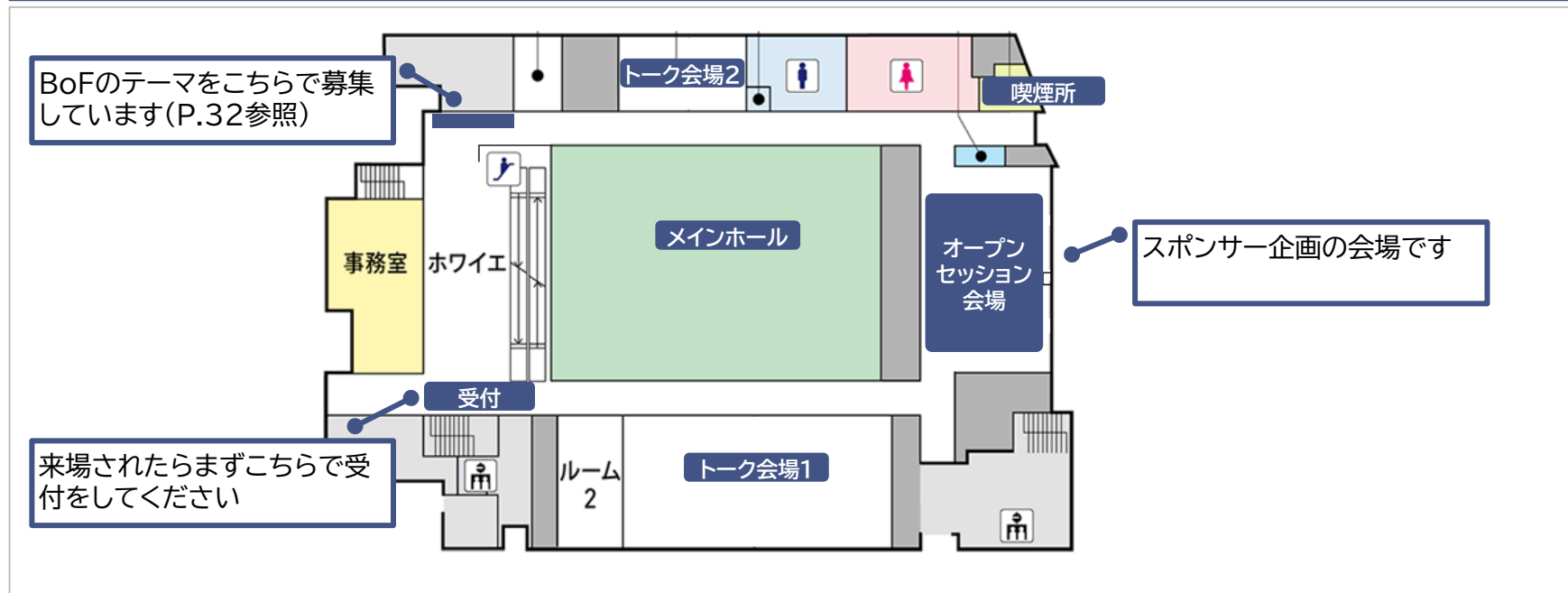
羽田イノベーションシティ 2Fフロアマップ



会場のご案内(コングレスクエア羽田)

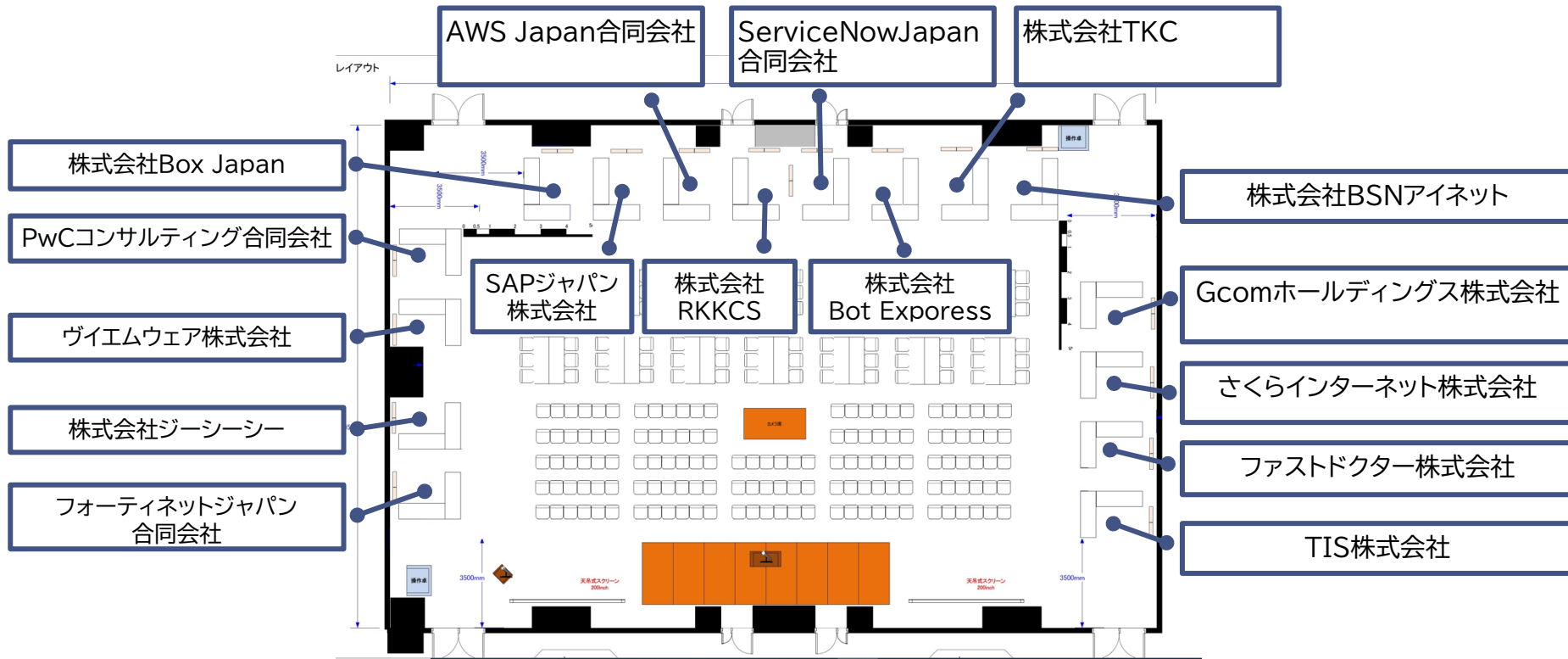
コングレスクエア羽田のフロアマップは以下の通りです。

コングレスクエア羽田



協賛企業ブースのご紹介

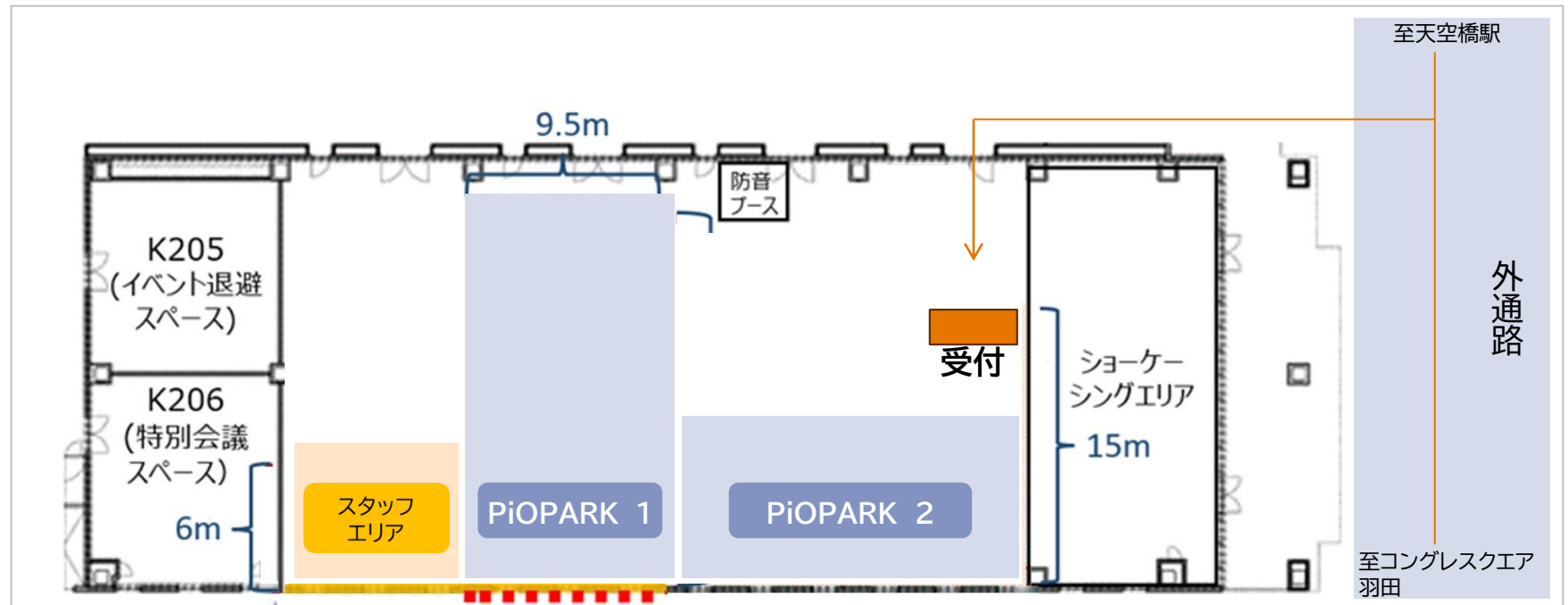
コンgresクエア羽田内のメインホールには、協賛企業ブースがございます。ぜひお立ち寄り下さい。



会場のご案内(PiOPARK)

PiOPARKのフロアマップは以下のとおりです。

PiOPARK



受付方法のご案内

受付開始時刻は1/5(金)9:30～、1/6(土)9:00～です。
事前に自身のスマートフォンにPeatixのアプリをダウンロードしてお持ちください。

Peatixアプリの事前準備のお願い



- アプリインストールのお願い
事前にご自身のスマートフォンにPeatixのアプリをダウンロードしてください。
- 受付前の準備
チケットから「チケットを開く」をタップし、**チケット画面を表示のうえお待ちください。**
この際に「タップで受付」を触らないようにご注意ください。

会場受付での受付方法

- 会場での受付方法
 - ① コングレスクエア羽田1Fの受付で、受付で名刺2枚と職員証、チケット画面を受付スタッフに提示してください。
 - ② ストラップをお渡ししますので、ご自身の名刺を入れてお使いください。会場内では常にストラップを身に付けてください。
- 2回目以降の受付について
1日目で受付済みの方は、改めての受付は不要です。ストラップを着用して会場に直接お越しください。

受付時にストラップ、バッグ、ノベルティ等をお受け取りください

ストラップ着用に関するお願い

安全管理のために、会場内ではストラップ着用をお願いしております。
コンgresクエア羽田、PioPARK、交流会・BoF会場(大田区産業プラザPiO)全共通の入場資格確認証として使用します。



ストラップ

- ストラップの取り扱い
 - 各会場内では常時必ず着用してください。着用されていない場合は、入場いただけません。
 - 紛失しないようお取り扱いください。再発行はいたしません。
- ストラップの色
ネームカードのストラップの色で参加カテゴリーが分かれております。
 - **青** : 一般参加者、関係者※、メディア等 ※公務員でない方も含まれます
 - **黄** : 協賛企業
 - **赤** : 運営スタッフ

ノベルティについて

当日、会場受付でPeatixチケット、お名刺2枚と職員証をご提示し、受付して下さい。事前登録を確認したうえでストラップとノベルティをお渡しします。各会場内では常時必ずストラップを着用してください。

Tシャツ

- サイズはS、M、L、XL、XXLがございます(先着順)。
- ご希望のサイズを受付で申し出てください。トートバッグに入れて他のノベルティと共にお渡しします。



Tシャツ・サイズの目安

単位：cm

サイズ	XS	S	M	L	XL	XXL
身丈	63	66	69	72	75	78
身幅	45	48	52	55	58	61
肩幅	38	41	44	47	50	53
袖丈	17	18	19	20	21	22

受付時にお1人1つずつお渡しします(数に限りがございます)

会場内での食事について

会場(コンgresクエア羽田)内は飲食物のお持ち込みは禁止です。

会場内での昼食について

- 会場内で昼食を取ることを希望される場合は、事前に Peatix(<https://peatix.com/event/3790391>) で「お弁当引換券」(各食1000円)をご購入ください。(数量限定。数量に達するまでご購入は当日の正午まで可能です)
- 右記のメニューから先着順に引き換えができます。それぞれ数には限りがあるため、必ずしも希望する弁当と引き換えができるわけではありません。
- 会場外で食事をされる場合は「お弁当引換券」の購入は不要です。
- お弁当はPioPARK会場でも食べられます。
- 払い戻しはいかなる場合もできません。

お弁当メニュー

- 1月5日(金) 崎陽軒
炒飯弁当、シウマイ弁当、季節の弁当、しょうが焼弁当
- 1月6日(土) まい泉
コースかつ弁当、十彩弁当、ヒレカツとコロツケ弁当、七福神
- お弁当とお茶またはお水のセットとなります。(こちらもそれぞれ数に限りがありますのでご容赦ください)
- メニューは予告なく変更する場合があります。

3. デツカイギの楽しみ方

デッカイギについて

デッカイギを楽しんでいただくために、チャタムハウスルールと撮影・録音の原則禁止をお守りください。また次ページの行動指針をよく読んでからご参加ください。

デッカイギの目的とお願い

- 国、自治体、事業者など複数のステークホルダーが協働する行政デジタル改革は、相互信頼に基づく情報交換なしに進めることはできません。そこで互いの交流を通じて、ステークホルダー相互の信頼醸成を図ることがデッカイギの目的です。
- デッカイギでは講演やパネルディスカッションなどのプログラムをご用意していますが、参加者がのびのびと議論や情報交換をする交流の場でありたいと考えています。そのためにBoFや交流企画のほか、交流スペースなどを設けています。
- 参加者をはじめとして会場にいる人たち全員がのびのびと議論や情報交換をするためには、守っていただきたいルールがあります。

会議内での発言の取り扱い

- **チャタムハウスルールの適用**
原則「チャタムハウスルール」で実施いたします。デッカイギで得た情報について、対外的に引用する場合は、発言者の所属や氏名を言及されないよう留意してください。
※ただしセッションオーナー及び登壇者が許可した場合は、報道媒体が記事で言及する場合があります。
- **写真撮影及びSNS等での共有について**
撮影・録音は原則禁止ですが、各セッションの写真撮影及びSNS発信の可否は、プログラムに記載の案内に従ってください。
- **報道関係者の聴講について**
報道関係者については、一部セッションを除き聴講参加を可としています。

行動指針について

デッカイギはすべての参加者らが自由に議論できることに尽力します。私達はどのような形態であれ参加者へのハラスメント行為を容認しません。容認できない行動に遭遇した場合、実行委員の江口又は福島までご連絡下さい。

ハラスメントとは

- ハラスメントにはジェンダー、性的指向、年齢、障害、身体的外観などに関連する攻撃的な言及が含まれますが、これに限定されません。
 - ・ 会話を持続的に遮断すること
 - ・ 不当に他者を排除すること
 - ・ 人を見下すような言葉や行動
 - ・ 自らの優位性を主張する行動や言動
 - ・ 意図的な脅迫
 - ・ ストーキング
 - ・ ハラスメントにつながる撮影や録音
 - ・ 不適切な物理的接触
 - ・ 公共空間における性的イメージの露出
 - ・ 性的な話題で注意を引くことなども含みます。

求められる行動

- 価値を認めましょう
- 敬意を払いましょう
- 意見を聞きましょう
- 対話しましょう
- 言動には責任を伴います

容認できない行動

- 中傷的な言葉は容認しません
- セクシュアルな言葉は容認しません
- 破壊的な言動は容認しません
- それらを扇動する言動は容認しません

スタッフが、行動指針に反する行為と認めた場合には、退場を求めています

デッカイギ LINE公式アカウントのご案内

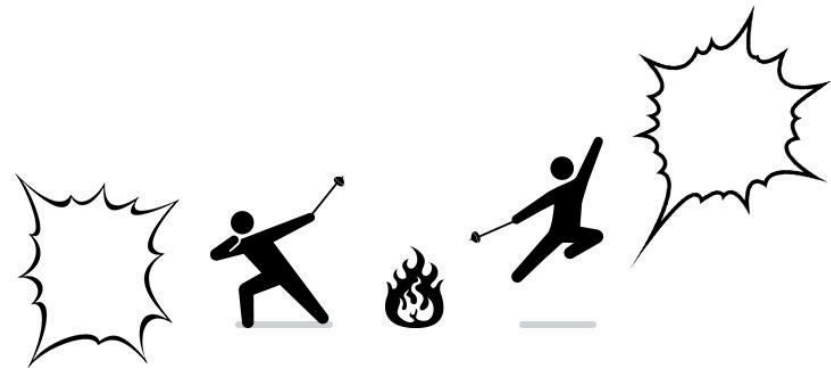
当日参加者向けに、プログラムのご案内等のための情報発信ツールとして、LINE公式アカウントを用います。会場にて友だち追加用のQRコードを掲示しておりますので、ご登録よろしくお願ひします。

運用ポリシー

- 対象者
 - ・ 本イベントに会場にて参加する皆様
- 発信内容
 - ・ プログラムのご案内
 - ・ 緊急時の対応
 - ・ その他本イベントに関すること
- チャットでの個別応答
 - ・ 対応不可(内容の確認ができない設定)
- 個人情報の取り扱い
 - ・ 個人を識別可能なアカウント情報含む個人情報は一切取得しません。
- 運用期間
 - ・ 本イベント開催日から参加後アンケート(P.38参照)の回答期限(2024年1月中旬頃)まで。
 - ・ 運用期間期間終了後、速やかにアカウントを削除しますので、予めご了承ください。

お願い

- 本イベント参加者専用のアカウントですので、アカウントの拡散はお控えください。
- 配信内容についても、引用等を用いた拡散はお控えください。
- 個別のお問い合わせはスタッフまで直接お寄せください。



ぼっち飯対策企画について

デッカイギに参加している方が、情報インプットだけをして、ひとりぼっちでご飯を食べて、誰とも交流せずにお帰りになる。これはデッカイギではありません！参加者みんなで自由に積極的に情報共有や議論をする。そんな交流の場が生まれることを願って、「ぼっち飯対策企画」を準備しました。

ぼっち飯対策企画ってなあに？

- ぼっち飯対策企画ってなあに？
デッカイギは、国・自治体・事業者など複数のステークホルダー相互の信頼醸成を図るためのイベントです。
「どの所属であっても、参加者一人一人が、会場内外で、自然と集い、仲間を作り、情報交換をしてほしい」その想いから、「ぼっち飯対策企画」を準備しました。
- どんな企画があるの？
ぼっち飯対策企画は、オンライン一覧からご覧いただけます。右に示すQRコードからWebページをご覧ください。
さまざまな企画をしています。
ぜひ、積極的にご参加ください！

※雨天中止企画や、先着順企画がございますので、ご注意ください。



URL は [こちら](#) から開くことが可能です。

4.夜の部のご案内

BoFについて

1/5 交流会後の19:00～21:00にBoFを開催します。会場は大田区産業プラザPiO(4Fと6F)です。

BoFについて

- BoF(ビーおーえふ/ぼふ)ってなあに？
「類は友を呼ぶ」という英語版のことわざから来た会議形式です。
特定議題について参加者を募り、車座形式で意見交換をします。参加者限りの情報として制限をかけることで、失敗談や課題等、機微な情報に関する会話ができます。

「チャタムハウスルール」で実施いたします。ここで得た情報について、対外的に引用する場合は、発言者の所属や氏名を言及されないよう留意してください。

チャタムハウスルールを守りましょう



BoFの運用について

- BoFで話すテーマの募集と決定方法
1/5の昼間にコングレスクエア羽田の会場内に設置するボードに、BoFで話したいテーマを付箋に書いて貼ってください。また、参加したいテーマが書かれた付箋があったらシールを貼ってください。シールが多いテーマ7つを当日集計し、BoFで話すテーマとして決定します。
- BoFのテーマと部屋
BoFの7つのテーマと部屋割は当日の「夜の部案内」と「交流会」で発表します。また交流会場受付にも張り出しをします。
- BoFへの参加
各部屋にはファシリテーターが付き、その場で話題提供者を募ります。交流会後、時間になりましたら参加したいテーマの会場(7カ所あり)へお集まりください。またそれぞれのBoF会場の出入りは自由で、複数の会場を移動して参加することを推奨しています。

交流会場・BoF会場までのアクセス

1/5夜の交流会場、BoF会場のご案内です。羽田インノベーションシティからは京急空港線をご利用になり、京急蒲田駅で下車して徒歩約3分です。

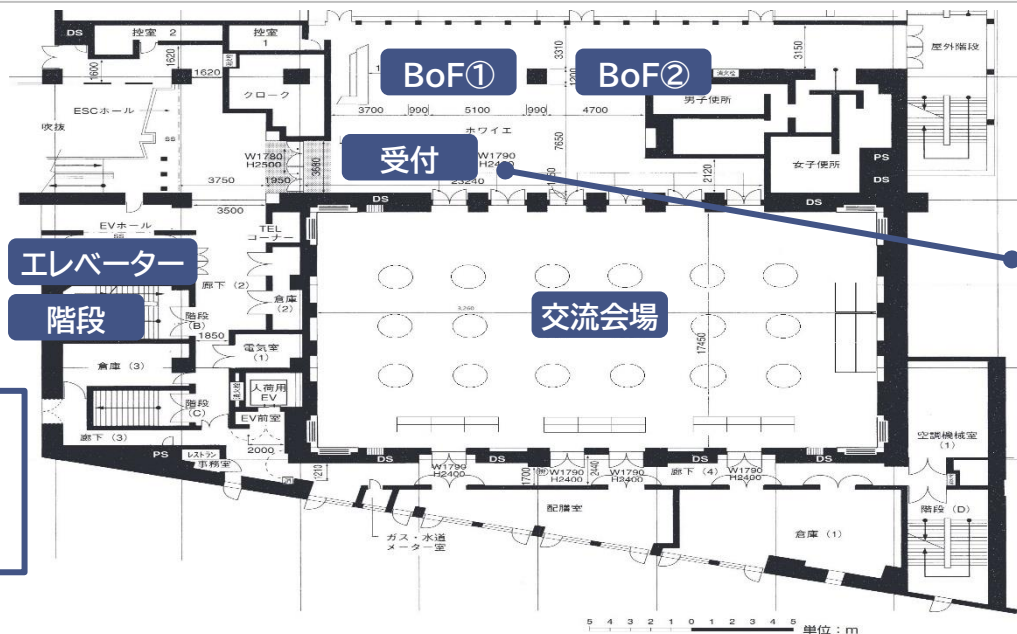
大田区産業プラザPiO



交流会場・BoF会場のご案内

交流会は4Fのコンベンションホールで、BoFは4F(2会場)と6F(5会場)の計7会場で開催します。交流会場からBoF会場へのご移動は階段又はエレベーターをご利用ください。

大田区産業プラザPiO 4F



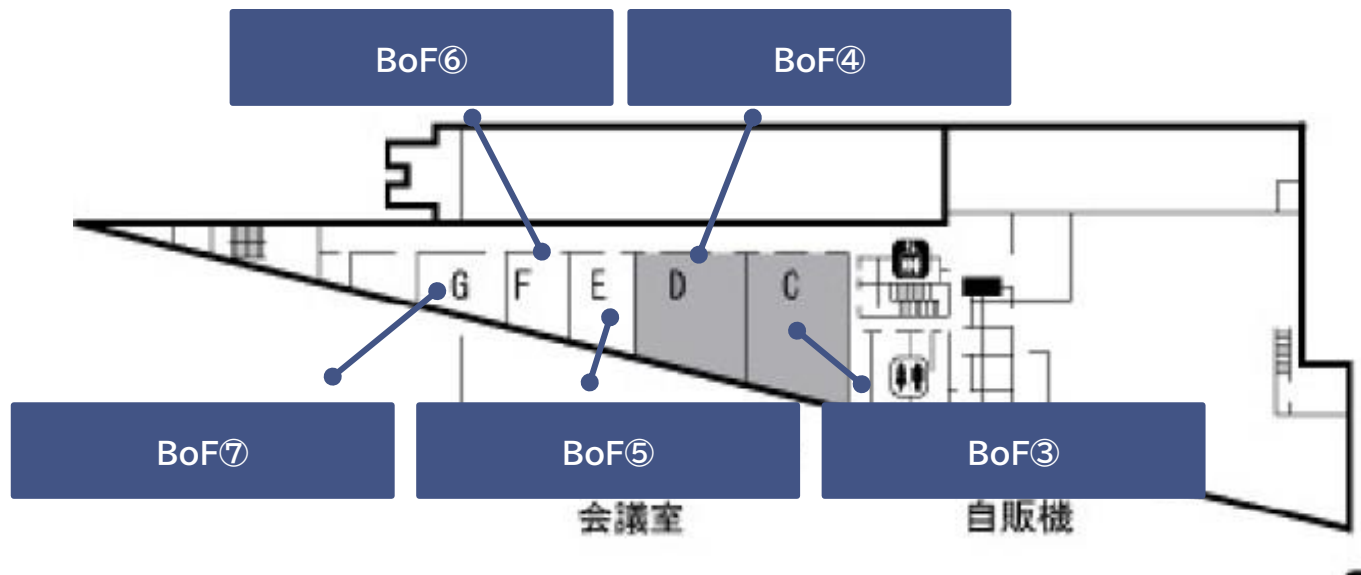
交流会の受付のほか、各BoF会場のテーマなどはこちらでご確認ください

BoF会場間の移動はエレベーター(定員10名)又は階段をご利用下さい

交流会場・BoF会場のご案内

交流会は4Fのコンベンションホールで、BoFは4F(2会場)と6F(5会場)の計7会場で開催します。交流会場からBoF会場へのご移動は階段又はエレベーターをご利用ください。

大田区産業プラザPiO 6F



5.参加後アンケートのお願い

参加後アンケートのお願い

参加後に、以下のアンケートにご回答ください。

参加後アンケートのお願い

- 下記のアンケートにご回答ください。(回答時間2～3分)
<https://forms.office.com/r/jHSSE1FBXW>
- アンケート結果の利用目的
アンケート結果は統計データとして集約した上で、以下の目的で利用します。
 - 協賛企業への結果報告
 - 実行委員会内での改善
- その他
協賛企業様のサポートの元、有志によるボランティアベースでの企画・運営である旨はあらかじめご了承ください。



行政デジタル改革共創会議

デジタルイギ

火中の栗拾いツアー 2024

再 始 動